

中川接骨院だより

平成 21 年 5 月 1 日発行 第 51 号

意外と知らない体のヒミツ

* どれだけ飲めばよっぽうか *

酒を飲むと、血液中のアルコールが麻酔剤となり、脳細胞を麻痺させます。これが酒酔いで、酔いの程度は血中アルコール濃度で決まります。

日本酒一合または、ビール大瓶一本なら、血中のアルコール濃度は0.05%。ほろ酔いの初期で、ハンドルを握れば酒気帯び運転で捕まります。

肝臓がこれだけのアルコールを分解するには約三時間かかります。



悪酔いするのは、血中アルコール濃度が0.15%を超えたところからです。日本酒で三合、ウイスキーで水割り十杯ぐらいです。千鳥足がひどく、倒れやすい状態になります。

0.3%を超すと泥酔状態になり、まともに立てません。日本酒なら七、八合、ウイスキーならボトル一本が空になるぐらいです。

0.5%を超えると、アルコールが呼吸中枢の働きまで抑えてしまうので、こん睡、呼吸麻痺が起こり、ひ

どい時は命を落とすこともあります。これが急性アルコール中毒です。

同じ酒の量を飲んでも、時間をかければ、肝臓がアルコールを分解するので、急性中毒の危険は少なくなります。

また、1%を超えれば、いくら酒の強い人でもまず助かりません。飲みすぎて、ハダカにならないようにしましょう。

(からだ雑学辞典 日本実業出版から引用)

佳祐(長男)の課題の残る高校デビュー戦



4月25-26日に高等学校春季大会が小杉総合体育センターで開催

長男の佳祐が高校生になっての初めての試合でした。25日に団体戦があり一回戦は、工芸高校と対戦し先鋒で出場、相手は100kg 超級の選手でした。30kg 以上の体重差のある相手に、どんな試合をするのかと思いましたが結果は引き分け、足技で崩し、勝つチャンスはあったのに.....団体戦は一回戦負け。26日は個人戦、三回戦目に今回優勝した小杉高校の相手に、見事な”背負い”で一本負け。課題が多く残るデビュー戦でした。 父談

当院での症例

高岡市在住 S.Yさん 31歳男性

【問診】

一週間前、起床時に急に背中に痛みが発生する。前日の使い過ぎによる筋肉の疲労と自己判断しシップを貼付するが、徐々に脇から胸にかけての痛みが増してきたため来院する。

【検査】

原因が不明で痛みが背中から胸にかけての痛みに広がってきたのと、皮膚に疱疹が出現していた為(患者はシップ剤のかぶれと勘違い)ヘルペスの疑い有、直ちに皮膚科へ紹介ヘルペスと診断

【考察】

60歳代を中心に50歳代～70歳代に多くみられ、過労やストレスが引き金で若い人に発症することも珍しくありません。神経に沿って帯状に赤い発疹と水ぶくれが出現し、疼痛を伴う。前兆としてだいたい1週間くらい前から、違和感やぴりぴりした痛みを感じることもあります。早期の抗ウイルス薬の治療が、必要で治療が遅れると、神経痛や感染部位によりマヒを起こす後遺症もありますので、自己判断せずに専門医の受診が必要です。



急性の外傷、疲労等による腰痛、肩こり、O脚、骨盤矯正には
カイロ治療が効果的です。

カイロ治療は、真の原因をさぐり全身的な治療を施します。

初診料(検査)	2,100円
治療料	4,200円
回数券 [5回券]	18,900円
回数券 [10回券]	33,600円

回数券は家族の方もご使用できます。 但し初診料(検査)2,100円は別途必要です

★編集後記★

新年度に入り、長男の佳祐(高一)、二男の貫志(中二)、長女の佳菜恵(中一)、三男の佳翔(小二)がそれぞれ進級しました。

今年度の目標は、長男はインターハイ出場、次男は5月に行われる昇段審査に合格、長女は北信越大会に出場、佳翔はそろばん四級合格です。

父は、HPをさらに充実させ、アクセス数を増やすこと。母は、みんなのサポート役に徹する。

それぞれ子供達には目標に向かって、あきらめず、突き進むよう強い意志を持ち続けて欲しいと思います。



診療時間の案内

平日 午前8時30分～午後12時30分 午後4時頃～午後8時

土・祝日 午前8時30分～午後12時30分

自由診療 随時受付

雨の日や足腰の都合の悪い方、送迎もいたしております。Tel26-5755にご連絡ください。

ホームページが新しくなりました。[高岡市柔道]で検索クリック

<http://judo55.com/> と 携帯版 <http://judo55.mobi/> です

